

人の可能性を照らせ。



2024年10月9日
株式会社 QDレーザ

「CEATEC2024」にてアイトラッキング技術を搭載した レーザアイウェアを展示します

株式会社 QDレーザは、10月15日(火)から開催される CEATEC 2024 に出展し、次世代網膜投影型レーザアイウェアのプロトタイプを展示いたします。本プロトタイプには、網膜投影技術における大きなブレイクスルーであるアイトラッキング技術を搭載しています。また、TDK 株式会社との共同開発により、同社の超小型フルカラーレーザモジュールを採用しています。

【CEATEC 2024 概要】

- 日 時： 10月15日(火)～18日(金) 10:00～17:00
- 会 場： 幕張メッセ(アクセス: <https://www.m-messe.co.jp/access/>)
- 概 要： CEATEC 2024 公式ページ <https://www.ceatec.com/ja/>
*ご来場には事前登録が必要です。公式ページからご登録ください。
- 出展場所： ブース番号 8H537
- 展示内容： 網膜投影型レーザアイウェア(AR タイプ)[アイトラッキングあり/なし]

*デモ機の数に限りがあるため、相当の待ち時間が予想されます。お時間には余裕をもってお越しください。混雑の状況によっては整理券を配布し、体験人数を制限する可能性があります。商談をご希望の方は、あらかじめ問い合わせ先までご連絡ください。

【アイトラッキング技術について】

従来の網膜投影技術では、レーザ光を瞳孔の中心に正確に通す必要があり、装着時のフィッティングが不可欠でした。さらに、目を動かすと映像が欠けたり消えたりするという使い勝手の課題がありました。新しいアイトラッキング技術は、装着者の瞳孔位置をリアルタイムで検出し、それに追従するように投影を制御します。これにより安定して映像を見ることができるようになりました。この技術の導入により、投影視野角を広げても* 画面の隅々まで鮮明に見ることが可能になります。さらに、ヘッドトラッキング技術と組み合わせることで、仮想的な大画面表示を実現することもできます。アイトラッキング技術の搭載は、網膜投影型レーザアイウェアの使用感や機能性を大きく向上させる重要なブレイクスルーとなりました。より自然で快適な拡張現実(AR)体験が可能になり、様々な分野での応用が期待できます。

*今回展示するアイウェアの投影視野角は水平約 40 度です。

【VISIRIUM テクノロジー】

光の三原色である RGB(赤緑青)の可視光レーザと、高速で振動する微細な鏡(MEMS ミラー)、さらに精密に設計された光学系を組み合わせ、網膜に映像を直接投影する技術です。視力(ピント調節)に影響を受けにくいことや、見ているものの上にデジタル情報を重ねる完全な AR(拡張現実)が可能なることから、スマートグラスに向けたディスプレイテクノロジーの1つとして開発を進めています。

QDレーザは、多様なパートナーと連携しながら、VISIRIUM テクノロジーを視覚支援(ロービジョンエイド)、視覚の健康維持(ビジョンヘルスケア)、視覚の拡張(オーギュメントドビジョン)の分野に応用し、社会実装してまいります。

【特許について】

QDレーザはレーザ網膜投影技術と製品に関して、これまでに81件の特許出願、46件の国内登録、32件の外国登録を行い、同技術の蓄積に関しては圧倒的に世界をリードしています。今回のアイトラッキング技術に関わる基本特許の概要は次の通りです：

発行国：日本国（JP）

特許番号：特許第 7437048 号

登録日：2024-02-14

発行日：2024-02-22

発明の名称：画像投影装置

特許権者：株式会社QDレーザ

【関連リリース】

「CEATEC2024」の TDK ブースにおいて最先端の網膜投影機器が展示されます

<https://www.qdlaser.com/news/2162/>

* 『RETISSA』および『VISIRIUM』は株式会社 QD レーザの登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 QD レーザ 視覚情報デバイス事業部

メール：vid-sales@qdlaser.com

以上